

事例 6 社会的事象の見方・考え方を働かせるために指導方法を工夫した事例

○学年 第3学年

○主な領域 内容(2) ア(イ)・イ(イ) 店ではたらく人

○事例のポイント

- ①単元を通した学習の見通しを持ち、社会的事象の見方・考え方を働かせて見学計画を作成、見学・調査できるようにする。
- ②社会的事象の見方・考え方(事象や人々の相互関係)を働かせることで、消費者と販売者の立場で考え、比べる活動を通して、販売の仕事の工夫について多角的に考えられるようにする。

ICTを活用した主な学習場面

・児童の考えを可視化、共有する学習活動の工夫

ICT活用の利点

- ①共同編集ソフト(オクリンクプラスなど)を活用することによって、多様な考えに触れながら自分の考えを整理し、深めることができる。
- ②振り返りを蓄積することによって、児童が自らの学びを振り返り、変容を実感することができる。

1 小单元名 「店ではたらく人」(13時間)

2 小单元について(略)

3 小单元の目標と評価規準

(1) 目標

地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり、地図や広告などの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の様子を理解している。	①消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見いだし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。 ②調べたことを消費者の願い	①地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

②調べたことを白地図や文などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	と関連付けて販売の仕事の工夫を考え、適切に表現している。	
---	------------------------------	--

4 小単元の指導計画・評価計画（13時間）

過程	○主な学習活動 ・学習内容	【評価の観点】内容＜方法＞ ※網掛けは評価した結果を記録に残す場面	資料等
つかむ	①児童の生活経験を基に、普段よく行く店について話し合う。 ・地域にある様々な種類の店とその分布 ・買い物調べカードのかき方	【知・技①】 学校周辺の店について地図などの資料で調べ、店の種類や位置、分布について理解している。 〈発言・ノート〉	・さまざまな店の写真 ・買い物調べカード
	②買い物調べの結果から学習問題をつくる。 ・よく買い物に行く店の分布 ・その店によく買い物に行く理由 ・商店街に行く人もいるが、スーパーマーケットに行く人が多い。スーパーマーケットには何かひみつがあるのか。 ・働いている人はどのような仕事をしているのか。	【思・判・表①】 消費者の願い、販売の仕方などに着目して、問いを見いだしている。 〈白地図・発言・ノート〉 事例のポイント② 消費者の視点からそれぞれの店に行く理由を話し合うことでよく行くお店について整理・分析ができるようにする。	・学校周辺の白地図 ・買い物調べカード
	学習問題 スーパーマーケットで働く人は、たくさんのお客さんに来てもらうために、どのような工夫をしているのでしょうか。		
	事例のポイント① 社会的事象（事象や人々の相互関係）に着目して学習問題を導き出せるように、買い物調べの整理・分析の結果から、消費者側の意識だけでなく、商店側にも工夫があるであろうことに着目させる。学習問題を作る際には、児童が今後の学習で追究する方向性を意識できるようにする。		

つかむ	③④生活経験や売り場のイラストをもとに学習問題について予想し、学習計画を立てる。 ・学習問題解決に向けた予想 ・学習計画（見学計画） ・見学カード	【態①】 地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈発言・ノート・見学カード〉	・見学カード ・売り場全体を俯瞰するイラスト
	事例のポイント① 社会的事象の見方・考え方を働かせて見学・調査ができるようにするため、売り場のイラストも参考に、見学・調査する視点を「品ぞろえ」「売り場」「働いている人の様子」「設備」などに焦点化したり、インタビューの内容を決めたりする。		
調べる	【見学の視点】 ①品ぞろえ（種類・個数・産地など） ②売り場（並べ方・売り方・値段のつけ方・宣伝の仕方など） ③働いている人の様子 ④設備（駐車場・リサイクルコーナー・レジなど）	編 P49 指導計画作成の留意事項(2)	
	⑤⑥⑦スーパーマーケットの見学を通して、スーパーマーケットの売り場や商品、働く人の様子について調べ、ノートにまとめる。 ・売っているものとその種類 ・商品の産地や並べ方 ・商品の紹介の書き方 ・働く人の数や様子	【知・技①】 販売の仕方などについて、見学・調査したことをまとめ販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。（見学カード・発言） 編 P49 指導計画作成の留意事項(8)	・見学カード ・スーパーマーケットの店員 ・店内マップ
	⑧写真資料や働く人の話を基に、商品の並べ方などに注目し、スーパーマーケットで働く人がどのような仕事をしているのかを調べ、ノートにまとめている。 ・働いている人の工夫	【知・技①】 写真や働く人の話を基に、商品の並べ方には、消費者の願いが関係していることを理解している。 〈発言・ノート〉 編 P49 指導計画作成の留意事項(2)	・商品が並んでいる写真 ・働く人の写真

調 べ る	⑨写真資料や働く人の話を基に、商品の売り方に注目し、スーパーマーケットで働く人がどのような仕事をしているのか調べる。 ・売り方の工夫 ・商品の加工 編 P49 指導計画作成の留意事項(2)	【知・技①】 写真やお店の人の話を基に、お店で働く人は、様々な消費者の願いに応えるよう、販売の仕方を工夫していることを理解している。 〈発言・ノート〉	・様々な大きさや数の商品の写真
	⑩品物の値札や広告を基に、スーパーマーケットで売られている多くの品物はどこから運ばれてきているのかを調べ、ノートにまとめる。 ・品ぞろえ、広告 ・産地、国旗 ・商品の仕入れの工夫	【知・技①】 地図帳や地図を基にスーパーマーケットに並ぶ品物は、国内だけでなく外国を含めた、他地域との関わりによって成り立っていることを理解している。 〈発言・ノート〉 編 P49 指導計画作成の留意事項(6)	・値札 ・広告 ・白地図 ・地図帳
	⑪写真資料や働く人の話を基に、商品の並べ方や売り方のほかに、スーパーマーケットがどのような工夫をしているのかを調べ、ノートにまとめている。 ・バリアフリーの取組（貸し出し用車いすなど） ・SDGs の取組（フードバンクなど） ・ポイントが貯まるアプリやお客様の声、広い駐車場、リサイクルコーナーなど ・地域貢献（地域のPRコーナーなど）	【知・技①】 写真やお店の人の話を基に、品物や売り方の工夫のほかに、店が様々な工夫していることを理解している。 〈発言・ノート〉 事例のポイント① 販売の仕方と消費者の願いを比べながら考える活動を通して、販売の仕事の工夫について、多角的に考えさせ、売り方や並べ方だけでなく、消費者の願いがあることに気づかせる。	・駐車場の写真 ・リサイクルボックスの写真 ・アプリ

まとめる	⑫⑬単元の学習を振り返り、スーパーマーケットの仕事の工夫と消費者の願いを関係図に整理し、学習問題の結論をまとめる。 ・消費者の願いと販売者の工夫、地域や外国との関わりについて整理すること。 ・関係図をもとに、「つまりスーパーマーケットは、何のために工夫をしているのか」と問い、消費者の様々な願いを叶えるために工夫をしていることを話し合うこと ・学習問題の結論をまとめること	【思・判・表②】 調べたことを消費者の願いと関連付けて販売の仕事の工夫を考え、適切に表現している。 〈発言・ノート〉	・今まで学習してきた資料
		ICT活用の利点① 今までの学習の振り返り、共同編集ソフト（オクリンクプラスなど）を活用して、消費者や販売者、他地域や外国との関わりを意識しながら、視点別に短冊に入力させ、まとめるようにする。	
		【知・技②】 調べたことを関係図にまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。〈発言・ノート〉	
	【学習問題の結論（例）】 ・スーパーマーケットではたらく人は、お客さんの様々な願いにこたえ、売り上げを高める工夫や努力をしながら仕事をしている。 ・年齢や生活の仕方など色々なお客さんがいて、それぞれの願いをかなえる工夫をしている。表を見ると、お客さんの色々な願いをスーパーマーケットで働く人が叶えようと工夫しているから。 ・はじめは、商品の種類をたくさん置くなどの工夫しか分からなかったけど、実際の店を調査して、SDGsのような環境面にも気を使って工夫をしていることが分かった。SDGsもお客さんの願いのひとつだと思う。 ・体が不自由な方の願いに合わせた工夫もしている。お客さんは、買い物しやすいお店だから、買い物に行くようになるのだと思う。 ※消費者の願いと販売者の工夫との関わりに触れる結論となるようにする。		

5 本時の学習指導（9／13時間）

(1) 目標

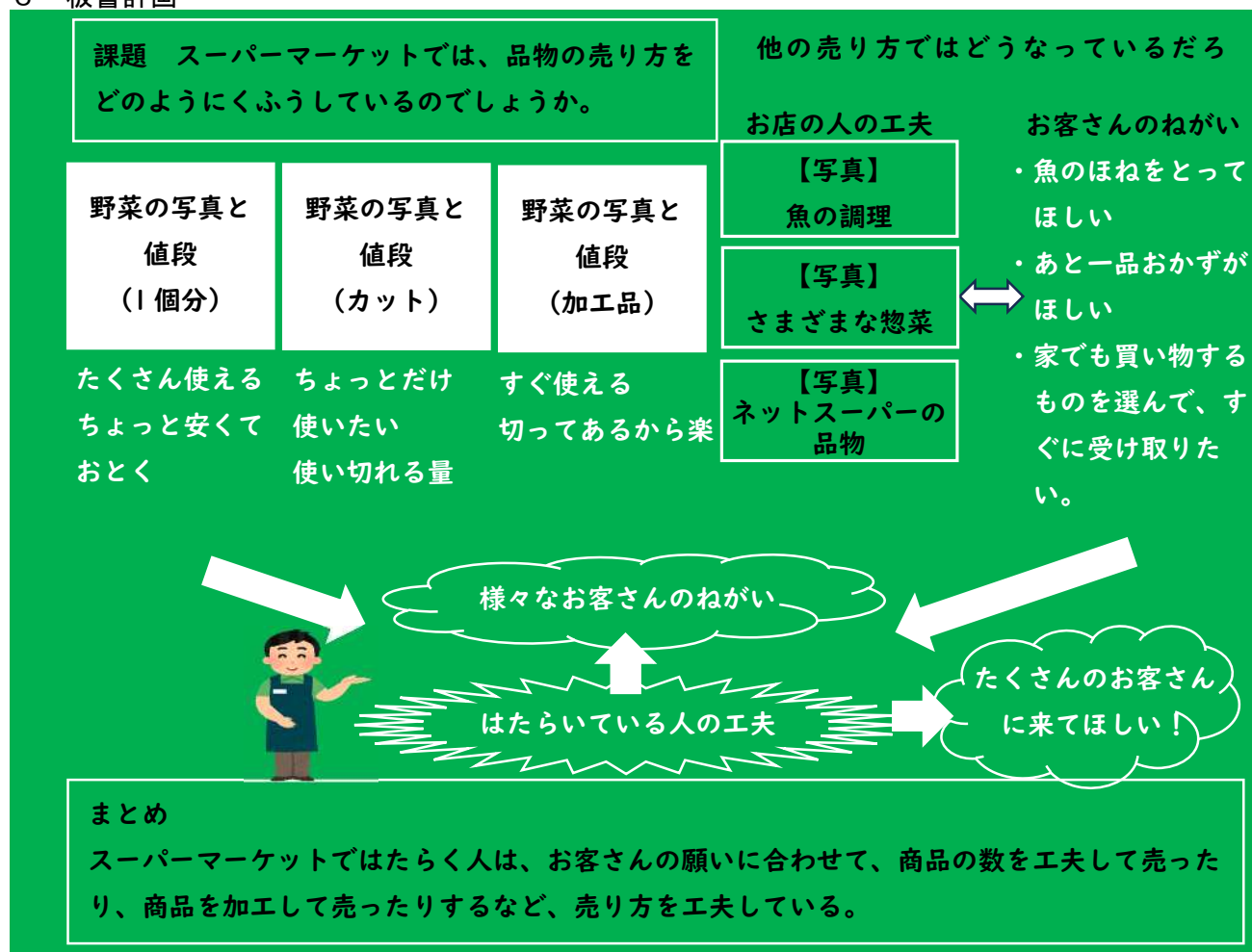
スーパーマーケットの写真や商店の人の話を基に、商店で働く人は、様々な消費者の願いに応えるよう、販売の仕方を工夫していることを理解することができる。〈知識・技能〉

(2) 展開

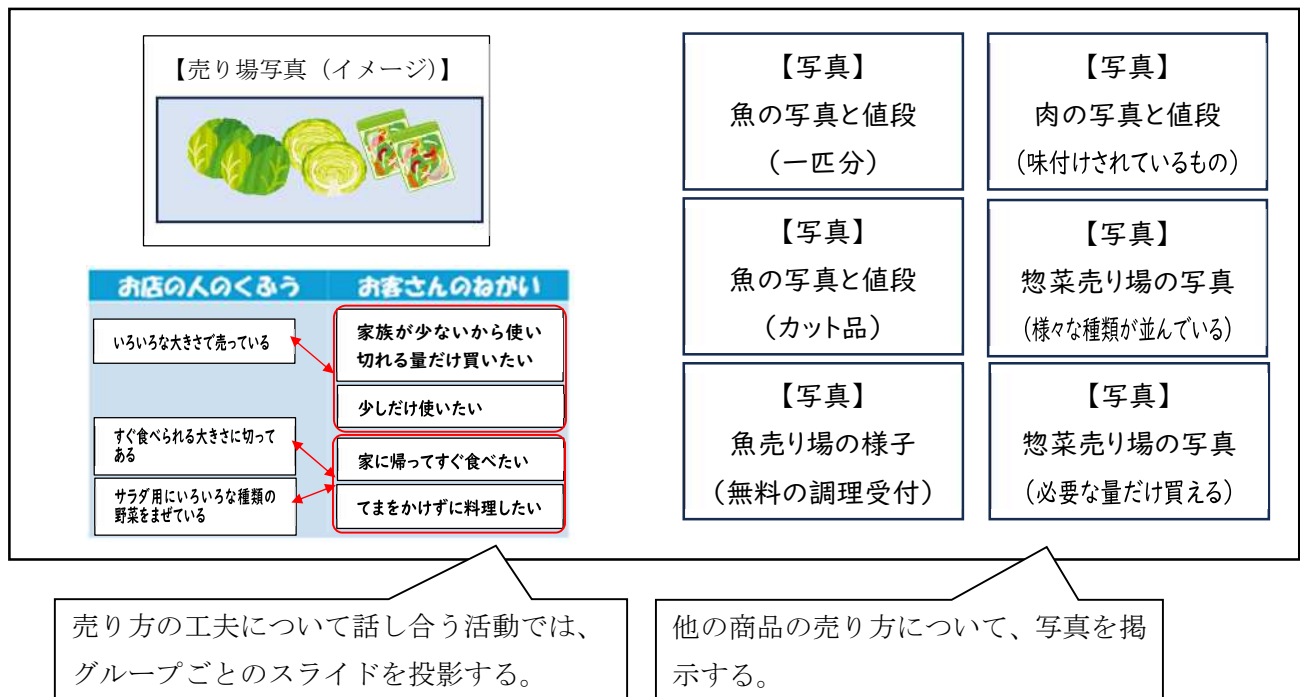
○主な学習活動 ・ 学習内容		・ 指導上の留意点 評価 <方法>	資料等	時間
1 同じ商品の違った売り方の写真から気が付いたことを話し合い、課題をつかむ		・ 同じ商品でも大きさや数の違う売り方の写真から、販売の仕方へ興味関心を持たせる。 ・ グループごとに視点を分け、それぞれの良さについて考えさせる。 ・ 話し合いを通して、それぞれの販売方法の良さについて理解させ、消費者が選べることの良さに気付くようにする。 ・ スーパーマーケットで働く人のインタビュー動画を見て、さまざまな大きさで売る理由を確認する。 ・ スーパーマーケットで働く人は、なぜそのような工夫をするのか考えさせ、売上につながることに気付かせる。 ・ 一つの工夫が、複数の願いにつながっていることに気付かせる。 ・ ICTを活用し、意見を共有できるようにする。	・ いろいろな大きさや数で売られている商品の写真 ・ インタビュー動画	5
課題 スーパーマーケットでは、品物の売り方をどのように工夫しているのでしょうか。				
2 いろいろな大きさや数で商品売っている意味を考え、話し合う。 ・ バラ売り、袋売り、カット売り、加工して売ることの良さや意味				20
事例のポイント② 同じ商品でも売り方に違いがあることについて、消費者の視点、販売者の視点で考えさせることで、それぞれの消費者の生活スタイルとその願い、販売者の工夫とが関連付いていることに気付かせる。				
ICT活用の利点① 共同編集ソフト（オクリンクプラスなど）を活用し、それぞれの売り場の写真をもとに、消費者の願いと販売の仕方の工夫を短冊に書き出し、整理させることによって、それぞれが関連付いていることに気付かせる。				
【ICT活用の例】 【売り場写真（イメージ）】  お店の人のくふう お客さんのねがい いろいろな大きさに売っている 家族が少ないから使い切れる量だけ買いたい 少しだけ使いたい すぐ食べられる大きさに切っている 家に帰ってすぐ食べたい サラダ用にいろいろな種類の野菜をまぜている てまをかけずに料理したい		評 写真やお店の人の話を基に、お店で働く人は、様々な消費者の願いに応えるよう、販売の仕方を工夫していることを理解することができる。【知識・技能①】<発言・ノート> ⇒B 規準に達しない児童への支援方法 自分の買い物調べカードをもう一度見返し、具体的な消費者の願いと商店の工夫を関連付けられるようにする。		

3 他の商品では、どのような売り方の工夫をしているのか整理する。 ・肉や魚の調理の仕方、総菜の作り方	・写真を使いながら、他の商品の売り方の工夫について見付けさせる。		10
4 分かったことをもとに話し合い、本時の学習をまとめる			5
まとめ スーパーマーケットではたらく人は、お客さんの願いに合わせて、商品の数を工夫したり、商品を加工したりするなど、売り方を工夫している。			
5 本時の学習を振り返り、ノートに整理する。 ICT活用の利点② 共同編集ソフトを活用し、振り返りを共有することによって、多様な考えに触れることができるようにする。	・本時の学習で新しく分かったこと、より調べてみたいこと、自分の考えなど振り返りの視点を明確にし、振り返りを充実させる。 ・ICTを活用し、振り返りが入力できた児童は、他の児童の振り返りを読ませ、自分の考えと比較できるようにする。	・他の売り場の写真 (肉・野菜・惣菜)	5

6 板書計画



ホワイトボード（モニター）に映す例



7 事例のポイントと考察

(1) 事例のポイントについて

- ① 単元を通した学習の見通しを持ち、社会的事象の見方・考え方を働かせて見学計画を作成、見学・調査できるようにする。

本事例では、児童が学習問題解決の見通しをもって見学・調査活動を行うために、社会的事象の見方・考え方を働かせた見学・調査の視点を持つことができるように学習活動を展開した。

実際の授業では、見学の計画を立てる際に、学習問題を解決するためにはどのような視点で見学するとよいのか話合った。その際、販売の仕事の工夫を事象や人々の相互関係に着目してとらえられるよう児童の意見を、品ぞろえ、売り場、働いている人の様子、設備の4つの視点に整理した。見学では、4つの視点を意識しながら、調査、まとめている児童が多く見られた。

（例）「つかむ」過程で、学習問題の予想を考え、児童の発言等から社会的事象の見方を働かせながら見学計画を作成する例



スーパーマーケットで働く人は、たくさんのお客さんに来てもらうために、どのような工夫をしているのでしょうか。答えを予想してみましょう。

たくさんお客さんに来てもらうために、スーパーマーケットの施設に工夫があるんじゃないかな。



お客さんにたくさん来てもらうように、みんながほしい商品売っていると思うよ。



I C Tの活用の利点

- ① 共同編集ソフト（オクリンクプラスなど）を活用することによって、多様な考えに触れながら自分の考えを整理し、深めることができる。

共同編集ソフト（ミライシードのオクリンクプラスなど）を活用し、消費者の願いと販売の仕事の工夫を付箋に書き出し、整理する活動を行った。グループで話し合いながら考えを整理・編集することができる点や、簡単に作業できるため話し合いや思考する時間を十分に取れる点が利点である。また、他のグループの成果物を瞬時に共有できるため、多様な考えに触れ、自身の考えを深めることにつなげることもできる。

- ② 振り返りを蓄積することによって、児童が自らの学びを振り返り、変容を実感することができる。

共同編集ソフト（Google スプレッドシート）などを活用し、毎時間の振り返りの蓄積を行った。そうすることで、毎時間の自分自身の学びの軌跡を確認し、学習活動を通じた自身の変容を実感することができた。また、他の児童の考え方に触れることができ、自分の振り返りの参考にしたり、他の児童の振り返りから新たな学びが発見したりすることができた。

(2) 実践に当たっての留意点

- ・各家庭での買い物調べをさせる際には、様々な家庭環境の児童が在籍することに十分留意する必要がある。学級の実態によっては、児童の買い物調べの内容を個々に発表させるのではなく、教師が事前に集計して学級全体の傾向として示すなどの配慮が考えられる。
- ・共同編集ソフトを活用することで、他者の多様な考えに触れ、参考にすることが容易にできることは大きな利点である。一方で、児童自身が一人でじっくりと考えることも必要である。I C Tを活用する際には、児童が一人で思考する場面と、集団で考えを広げ深める場面とをバランスよく設けることが重要である。